

地球温暖化の



防止に向けて…

日本のエネルギー消費はこの50年で20倍という急成長を遂げました。

これはそのまま日本の経済成長となったのです。

日本のエネルギーの自給率は9%で世界最低です。

産業革命以降、人間が最も多く使ってきたエネルギーが石油と石炭で、先進国の90%が主要エネルギー源としています。つまり、現代人の生活は石油・石炭に大きく依存しているわけです。

人間が大きく依存している石油・石炭には大きな問題が

2つあります。

第一に、埋蔵量に限界があることです。第二の問題点は、石油・石炭の使用が地球の温暖化と密接に関係していることです。人間は大量の石油・石炭を使って経済を発展させ、現在の生活をつくりあげてきました。ただし、石油・石炭を燃やすと温室効果を持つ二酸化炭素が大量に放出されるため、大気中の温度が上昇してきます。

1980年代の後半、温暖化の影響が各地で見られるようになると、エネルギー問題は「埋蔵量：資源枯渇」の心配から「地球温暖化」への危機へと変わってきました。

1980年代の後半、温暖化の影響が各地で見られるようになると、エネルギー問題は「埋蔵量：資源枯渇」の心配から「地球温暖化」への危機へと変わってきました。

※三重県環境学習情報センターでは、温暖化防止に繋がる活動を知り、実行する意義と手段を学ぶ講座があります。

温暖化防止に向けた実践講座(活動報告)

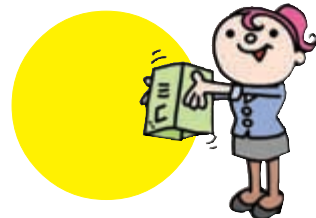
○環境家計簿教室

地球温暖化防止対策として三重県全体が取り組もうとしているCO₂排出量6%削減を目指し、私達一人ひとりができることを考え実践していく手段として、家庭からの無駄を軽減するために環境家計簿を活用することを促進します。

講座では簡単に実践できる省エネ活動を紹介します。

13年度の開催講座報告(平成14年2月末現在)

5回 開催 のべ参加者数 265人



○誰でもできるグリーン購入基礎講座

グリーン購入指針とは何か理解を得て、環境管理システム(ISO14001)の基礎である環境負荷・環境側面の考え方を解説することで、一人ひとりが取り組めるグリーン購入の手法と重要性について考え、結果として実践活動の促進を目的とします。

13年度の開催講座報告(平成14年2月末現在)

8回 開催 のべ参加者数 180人

環境意識を持った企業行動のために(活動報告)

○誰でもわかるISO14001基礎講座

県民に、環境管理システム(ISO14001)の基礎構想を理解してもらう為、県庁及び各自治体の環境負荷低減対策の取り組み方を解説します。行政側の環境問題に対する取り組み方の理解を得ると共に、県民の環境問題に対する意識向上を目的としています。

13年度の開催講座報告(平成14年2月末現在)

1回 開催 参加者数 7人



(環境講座の受講風景)

○ISO14001構築講座

環境管理システム(ISO14001)の基本構想を理解し、環境問題に対する取り組み方の理解を得ると共に企業・団体の環境問題に対する意識向上と実施活動の促進を目的としています。

13年度の開催講座報告(平成14年3月現在)

10回 開催 のべ参加者数 286人

○会社・企業が取り組む環境保全活動の研修会

研修会では、環境保全活動を先進的に取り組んでいる企業と県庁の環境保全活動の事例紹介などを通じて、実社会の環境保全に向けての活動について学習します。

13年度の開催講座報告(平成14年2月現在)

2回 開催 のべ参加者数 31人

(第1回企業報告：鈴鹿富士ゼロックス(株))

(第2回企業報告：清水建設(株))

ホームページ「三重の環境」「環境学習の部屋」

<http://www.eco.pref.mie.jp/>



そいてみましたか?

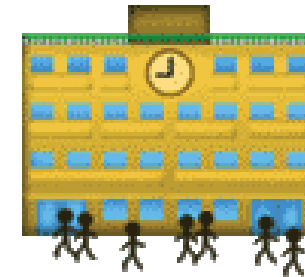
あなたの町のエコスクールを紹介します!

ホームページ「三重の環境」(<http://www.eco.pref.mie.jp/>)の「環境学習の部屋」では、エコスクール紹介を始めました(<http://www.eco.pref.mie.jp/forum/land/eco-school/index.htm>)。

環境に配慮した校舎や、学校全体で環境保全活動に取り組んでいる学校など、各学校の取り組みなどを紹介していきます。

もしあなたがこうしたエコスクールをご存知でしたら、センターまでお知らせ下さい。取材に行き、ホームページで紹介していきます。

電話：0593-29-2000 FAX：0593-29-2909 Mail:center@eco.pref.mie.jp



環境を考えた省エネ生活

Q&A 第4回ゴミの後始末と省エネ活動

Q 私達の生活でゴミはどれだけの量が出ているのでしょうか?

A 私たちは毎日、実に多くのものやエネルギーを消費して生活しています。この日々の生活に伴って、目に見えるところで、また見えないところでさまざまなゴミが排出され続けています。その結果全国民が1年間に家庭等から排出される廃棄物(一般廃棄物)は、およそ5,145万トン(平成11年度)に達し、東京ドームのおよそ139杯分にもなります。

さらに、工場や事業所等から排出される産業廃棄物は平成11年度で約4億トンであり、このような大量の廃棄物を処理するために、多くの時間と経費が掛かります。

三重県では、平成11年度における家庭からゴミの総排出量は、82万3768トンです。

三重県民1人当たりに換算すると家庭からの排出ゴミ(一般廃棄物)は、1日に1210グラム。1年間に440キログラムを超えています。(いまだ、大量生産/大量消費/大量廃棄の傾向が…)ゴミといっても、燃やすばかりではありません。三重県の一般廃棄物の処理は、焼却処理が最も多く66.2%、埋立処理が18.6%となっています(環境白書平成13年度版)

ゴミを減らすとどんなことが起こるのでしょうか?

ゴミを減らすにはゴミになるモノを減らすことが必要です。では、無駄なモノを減らすと、

- 1、モノをつくる時に掛かるエネルギーと使う資源の使用量を減らせる
- 2、作ったモノを運ぶエネルギーが減らせる
- 3、モノを長く使うことで資源の有効利用となる
- 4、ゴミを減らすことで処分するときのエネルギーを減らせるなど…

私達一人ひとりが心掛けること!

ゴミを減らしていくには、どんな事に気を付ければ良いのでしょうか?それには…

- 1、何がゴミになるのか買う前などによく考えてみましょう。
- 2、ゴミになるものを減らす努力と工夫をしましょう。
- 3、使い終わった後のことまで考えましょう。

※ゴミ問題は地域の処分の問題だけでなく、省資源・省エネルギーなどの環境問題とも大きく関わっています。地球に負荷をかけないやさしい生活をするのが大切です。

かんきょうクイズ

ちょっと考えてみてね 答えは裏の下段にあります

(ア)地球規模で起きている環境問題とは、①~③のどれでしょうか。

- ・地球の温暖化・オゾン層の破壊・酸性雨・熱帯林の減少・砂漠化・野生動植物種の減少・川、湖、海の汚染・有害廃棄物の越境移動・発展途上国の公害問題

(イ)地球温暖化を引き起こしている原因は何でしょうか?

- ①左記9つ全部の現象が起きている
- ②酸性雨・地球温暖化・オゾン層の破壊の3つ
- ③地球温暖化のみ起きている

(ウ)河川や湖沼の水質汚濁の原因として、一番大きいものはどれでしょうか?

- ①人間の生産活動および消費活動による二酸化炭素排出量の増大
- ②火山の活動による地熱の上昇
- ③太陽からの光の増大

(エ)環境への負荷が少ない、環境の改善に役立つ製品につけられています。このマークの名前は次の中のどれでしょうか?



- ①水田や山林からの排水
- ②工場からの工場排水
- ③家庭からの生活排水

- ①アースマーク
- ②エコマーク
- ③ジスマーク